



写真／色とりどりの花が咲き誇り、来園者を楽しませたどんでん平ゆり園

町の生活情報紙
—HIDE PUBLIC RELATIONS—



広報 いいで

2025 August

Vol. 1181

8 月号

Contents

- ◎県内初 飯豊町と米沢市が「脱炭素先行地域」に選定されました！
- ◎飯豊町こども食堂「みらいろキッチン」が始まります
- ◎第37回いいで黒べこ祭り～最高級飯豊産米沢牛を楽しむ～

プロモーション
映像



HP



facebook



LINE



県内初

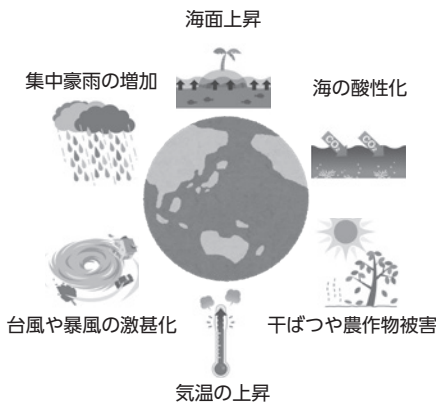
飯豊町と米沢市が

「脱炭素先行地域」に選定されました！

飯豊町と米沢市が連携して取り組む、地域資源を生かした脱炭素のプロジェクトが、環境省の「脱炭素先行地域」に選定されました。

町内の畜産農家から出る肉用牛のふんを活用し、バイオガス発電や肥料への再利用、省エネルギー設備の導入などを通して、地域全体で温室効果ガスの削減を目指すプロジェクトです。

環境に配慮した持続可能なまちづくりを進めるモデルとして、環境省からの支援を受けながら、2030年カーボンニュートラルを目指す取り組みが本格的にスタートします。



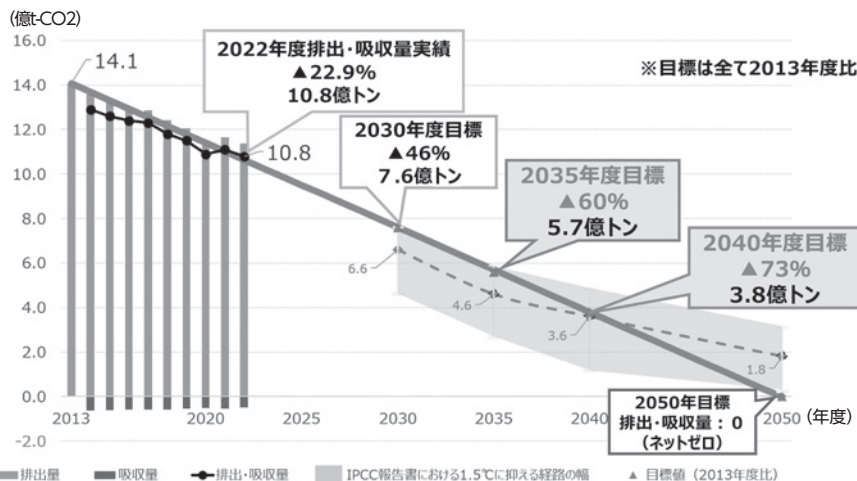
私たちに今できることは？

異常気象や自然災害が増えている背景には地球温暖化があります。その原因となる二酸化炭素を減らす「脱炭素」は、未来の暮らしや環境を守るために必要な取り組みであり、地域や企業、そして私たち一人一人の環境に対する意識の醸成と行動が求められています。

日本では、地球温暖化を防ぐために、温室効果ガス（二酸化炭素など）の排出量を減らし、2050年までに排出と吸収を差し引きゼロにする「カーボンニュートラル」を目指しています。

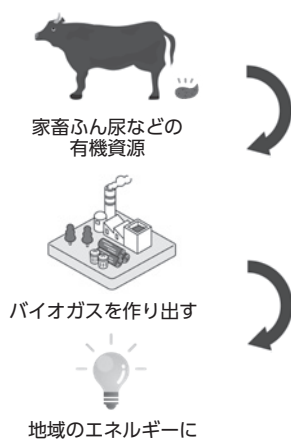
図1は2013年度を基準とした温室効果ガスの排出と吸収の推移と、今後の目標を占めたものです。2030年には46%削減（7.6億トン）、2040年には73%削減（3.8億トン）を目指し、最終的に2050年には排出量と吸収量を等しくすることを目標としています。

この目標を達成するには、国の方針と歩調を合わせながら、地域ごとに具体的な取り組みを進めていくことが不可欠です。町では、地域の特性を生かし、肉用牛のふんを活用したバイオガス発電や、再生可能エネルギーの導入、省エネの推進など、町全体で脱炭素に向けた取り組みを進めていきます。



牛ふんを活用した バイオガス発電

町内の畜産農家から排出される牛ふんなどを原料として、新たにバイオガス発電設備を整備します。この施設では、ふん尿をメタン発酵させて発電するだけでなく、発電後に残る消化液も無駄にせず、液体肥料やペレット肥料として農地に還元します。

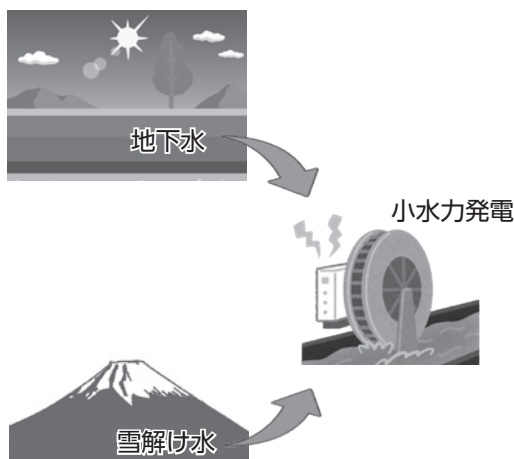


省エネと生活の質向上を 同時実現

脱炭素先行地域事業における省エネ対策は、住宅断熱改修や高効率の空調機、給湯器などの導入により室温変化を小さくし、冷暖房費の削減、健康的な住環境の実現を支援します。また、省エネ行動の実践により、家庭や事業所のエネルギー消費量が減少し、光熱費の削減、経済的負担の軽減につながります。

小水力発電の導入

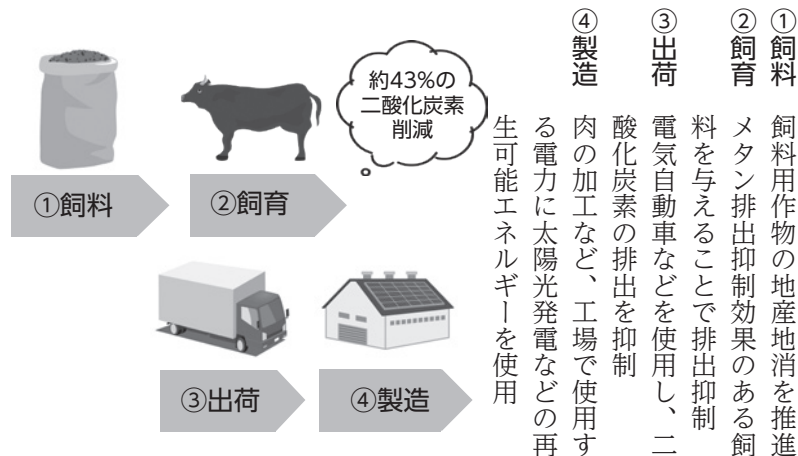
町では、豊富な水資源を生かし、小規模な水力発電を新たに導入します。大規模なダムを必要とせず、自然の流れを利用して電気をつくる、環境に優しい再生可能エネルギーです。特に飯豊町のような中山間地では、供給地域に近い場所で発電を行う分散型電力供給体制が構築できるメリットがあります。また、大規模なダム建設を必要としない小水力発電は、環境への影響が小さく、安定した発電が期待されます。バイオガスや太陽光など他の再生エネルギーと組み合わせながら、地域の自然を生かした持続可能なエネルギーモデルの構築を進めていきます。



米沢牛の生産から 販売までを脱炭素化

米沢牛は全国的にも高いブランド力を有していますが、その生産・輸送・加工・販売といった一連の流れ（サプライチェーン）は、多くのエネルギーを消費し、二酸化炭素を排出します。このサプライチェーン全体の脱炭素化を図ることで、持続可能な地域モデルの構築とブランド価値の向上を目指しています。

サプライチェーンの仕組み



米沢牛のブランド価値向上

米沢牛のブランド価値向上に向けて、脱炭素・低炭素の取り組みを「持続可能な生産」として発信し、他のブランド牛との差別化を図ることを狙っています。特に、首都圏や海外などに向けて、環境に配慮した付加価値をアピールすることで、ブランドイメージを高め、消費者に選ばれる理由を明確にします。このような取り組みは、単にイメージアップにとどまらず、実際の取引価値の向上や市場拡大にもつながり、経済的に畜産農家の経営安定や地域全体の持続的な発展にも貢献します。



地域一体で挑む脱炭素 飯豊町・米沢市で

キックオフミーティング開催！

事業スケジュールの全体像

選定された脱炭素先行地域づくり事業では、再生可能エネルギーの導入やエネルギー効率の高い設備への転換を通して、持続可能な地域づくりを目指しています。多角的な施策を、令和7年度から令和12年度までの6年間にわたり計画的に実施することで、「カーボンニュートラル」の実現に向けた先進的な地域モデルとして、全国に先駆けて脱炭素を推進していきます。以下のようなスケジュールで、段階的にさまざまな取り組みを展開していきます。

●事業計画の期間

開始年度…令和7年度
終了年度…令和12年度

●事業費および交付対象事業費

事業費…51億6532万円
交付対象事業費…
38億8131万8千円

飯豊町脱炭素先行地域事業スケジュール

事業概要	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度
バイオガス発電施設新設					→	
小水力発電施設新設	→					→
既存住宅断熱改修支援(一般住宅)		→	→	→	→	→
高効率設備等(エアコン)導入支援		→	→	→	→	→
高効率設備等(エコキュート)導入支援		→	→	→	→	→
太陽光発電設備導入(住宅・事業所・公共)		→	→	→	→	→
蓄電池導入支援		→	→	→	→	→
事業説明会(随時)	→	→	→	→	→	→

7月18日、神乃湯ホテルにおいて、米沢・飯豊脱炭素先行地域事業キックオフミーティングが開催されました。この事業は、国が選定した「脱炭素先行地域」として、2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、再生可能エネルギーの導入や地域資源の活用を進めるものです。

この日は、飯豊町長・米沢市長・山形県環境エネルギー部長などの関係者のほか、共同提案に参画した25の企業・団体が出席し、事業内容やスケジュールの共有、今後の連携体制を確認しました。

この事業の中心となるのは、牛ふんなどの畜産由来の資源を使用したバイオガス発電施設の活用、太陽光や小水力といった自然エネルギーの導入、それらを支える蓄電池の設置など、複数の取り組みを組み合わせた実効性の高い計画です。

町では、これからも広報や説明会を通して情報発信を行います。この脱炭素事業が地域に根付き、次世代につながる社会を実現できるよう、皆さんのご理解とご協力をお願いします。



▶キックオフミーティング集合写真

◆問合せ先／役場住民課生活環境室

☎87・0514

飯豊町こども食堂

「みらいろキッチン」が始まります



子ども食堂とは

※ウエルビーイング…肉体的にも、精神的にも、社会的にも全てがよい状態にあること

子ども食堂という言葉を目にしたことはありますか。子ども食堂は、単に子どもの貧困対策という意味合いではなく、子どもからお年寄りまで多様な世代に地域の居場所を提供する子ども食堂として、運営されている場合が多くなっています。町では、子どもが安心して地域で子どもを育てる場、子どもや子育て世代の困難に気付き支援につなげる場、子どもが交流や活動を通して経験し学ぶ場、子どもと大人が交流を深める場として子ども食堂・子どもの居場所作りを進めます。

◎組み合わせ食堂

料理を作る、食べるだけではなく農業体験、収穫体験、もちつき体験、郷土料理教室などの食育教育などをあわせて開催します。

◎チャレンジ食堂

スポーツ、音楽、伝統、文化、芸術など幅広い体験や経験の機会の創出に努め、子ども食堂と組み合わせで開催することで子どもたちの多様な可能性を育む活動とします。



シンポジウム開催

7月12日、町民総合センター「あす」において、子ども食堂から始まる地域のウエルビーイング推進シンポジウムが開催されました。

基調講演では、認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえの渋谷雅人氏が『子ども食堂から始まる地域のウエルビーイング』と題し「子ども食堂は、全国の公立中学校数を超える全国約1万カ所で開催されている。家庭でもなく学校でもない、安心して過ごせるサードプレイスとしての役割があり、地域と

◎居場所食堂

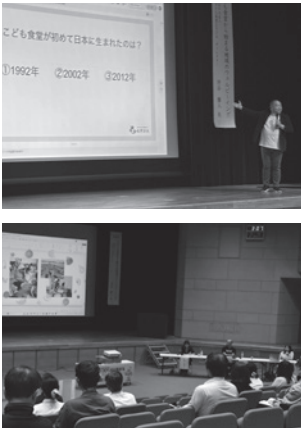
地区まちづくりセンターを拠点として、月1〜2回程度子ども食堂を運営します。子どもやその親に限定せず、地域住民やボランティアの参加を推奨し、子どもたちと一緒に作ることで、多世代と自然に交流する



つながり、信頼できる大人と出会う場としての居場所が求められている」と子ども食堂の現状や子ども食堂が子どもだけでなく大人も含めた居場所や地域交流の場となっていることを話しました。

パネルディスカッションでは、なかよしキッチン代表佐藤千恵美氏、認定NPO法人with優代表白石祥和氏、NPO法人はっと代表高橋エミ氏が「地域の居場所としての子ども食堂」をテーマに、活動内容の紹介や子ども食堂などの活動を通しての思いや工夫していることなどを話しました。

参加者からは、「自分たちはボランティアで子ども食堂を行っているので、行政がどのように関わるのか興味を持った」「子ども食堂を地域の方が自分事として感じてもらう工夫を教えてください」など感想や意見が寄せられました。



みらいろキッチン オープン

7月28日、キッチン西部では、地域の方と子どもたちがゆべしを作りました。生地をを整えるのに苦戦しながらも無事に完成し、みんなで楽しく出来たてのゆべしを味わいました。

7月31日、あぶれ食堂では、地元の食材を中心にカレーを作りました。参加した児童は「大人と一緒にカレーを作ったのが楽しかったし、おいしい」と完食していました。



▲ キッチン西部（西部地区 まちづくりセンター）

◀ あぶれ食堂（中津川地区 まちづくりセンター）

飯豊町こども食堂



◆問合せ先／役場企画課まちづくり室
☎ 87・1182

第37回いいで黒べこ祭り

～最高級飯豊産米沢牛を楽しむ～

- 2 前席をゼロに
- 8 働きがいも経済成長も
- 11 住み続けられるまちづくりを



▲A5ランクの飯豊産米沢牛



▲爽やかな夏空のもと多くの方が焼肉を楽しみました

7月13日、町民総合センター「あす」を会場に、第37回いいで黒べこ祭りが開催されました。町内外から家族連れや仲間同士など約600名の方が来場し、A5ランクの飯豊産米沢牛を堪能しました。

開会イベントでは、いいで黒べこ祭り実行委員会梅津光則委員長が「今年は米沢牛誕生150周年という記念の年。米沢牛発祥の地と言われる飯豊町で最高級米沢牛を楽しんでほしい。また、今年も暑い夏を乗り越えるために牛肉でスタミナをつけ、熱中症予防に牛乳も飲んでほしい」とあいさつしました。

今年提供された牛肉は、畜産農家の遠藤功さん（黒沢）が丹精込めて育てたものです。来場者は、1キログラムの焼肉セットを受け取ると、美しい霜降りの肉に「おいしそう」「すごい」と歓声を上げていました。いざ、肉が焼けてくると、パチパチと油の跳ねる音が聞こえ、五感で米沢牛を楽しむことができました。初めて参加したという県外の方は「初めて米沢牛を食べた。見た目よりも柔らかく、口に含まれるとろけておいしい」と満足した様子でした。



▲おいしい米沢牛に笑顔が溢れます

また、お楽しみ抽選会でステーキ肉が当たった方は「10年以上前から毎年楽しみにして来ている。会場でおいしい肉をいただき、家に帰ってからも家族と楽しみたい」ととても嬉しそうでした。

昨今の物価高や猛暑などの影響で、畜産農家は苦慮しながらも大切に牛を育てています。本町は「米沢牛」の約4割を生産する主産地でもあります。生産者の思いを感じ、命をいただくことに感謝しながら町内の畜産農家を応援していきたいものです。

豊かな風土と伝統が育んだ

日本黒毛和牛トップブランド

◆「米沢牛」発祥の地 飯豊町

江戸時代、米沢藩9代藩主上杉鷹山は、藩校「興譲館」を開校しました。その興譲館で明治4年から8年まで教鞭を執ったチャールズ・ヘンリー・ダラスという人物がいました。ダラスは故郷を懐かしみ、四つ足の動物は食べないとされた米沢の地で牛肉を食べたのが、食用としての米沢牛の始まりだと言われています。そのおいしさに感動したダラスが米沢を離れる前に、旧添川村の牛1頭を横浜に持ち帰り、食したダラスの友人たちがその旨さを口々にほめたため「米沢牛」が全国に広がるきっかけになりました。

◆飯豊産「米沢牛」の魅力

飯豊連峰を源流とする清流白川の水脈と、緑多き自然環境は肉牛の成長に欠かせない恵みとなります。肥育農家は自らの水田で米を作り、収穫した稲わらに良質な餌を配合し牛に与えます。自然の恵と豊かな環境を生かす努力との融合が「米沢牛」の質の高さの秘密です。



児童扶養手当 特別児童扶養手当のお知らせ



児童扶養手当

18歳以下の児童（一定の障がいを持つ20歳未満の児童）を養育しているひとり親家庭などの保護者へ支給されます。

◆支給期間／支給対象児童が18歳になった日以降最初の3月31日まで（一定の障がいがある児童は20歳到達まで）

◆支給額（月額）

区分	全部支給	一部支給
児童1人	46,690円	所得などに応じて 46,680円～11,010円
児童2人目以降	11,030円加算	11,020円～5,520円加算

◆支給制限／次に該当する場合は、手当の一部または全部が支給されません

- ・本人または扶養義務者の所得が一定額以上の場合
- ・公的年金を受けられる場合
- ・特別な理由がないのに働いておらず、求職活動も行っていない場合
- ・認定請求や現況届において虚偽の申請または届け出をした場合

◆支給時期／認定請求した日の属する月の翌月分から支給され、原則年6回（1月・3月・5月・7月・9月・11月）指定された金融機関の口座に振り込まれます

◆現況届

継続して手当を受給するには、現況届を提出しなければなりません。現況届は、次年度の受給資格の認定と手当額の決定を行うものです。なお、受給資格がなくなったときはすぐに届け出てください。届け出をしないで手当を受け取っていた場合、受給していた手当額を返還していただきます。

◇提出期限／8月29日(金)

※土日祝日を除く

【児童扶養手当・特別児童扶養手当共通】

◇受付場所／町健康福祉課子ども家庭健康室

◇受付時間／8時30分～17時15分

※上記以外の時間を希望する場合は、事前に電話でご相談ください

◆問い合わせ先／町健康福祉課子ども家庭健康室

☎86-2338

特別児童扶養手当

精神または身体に障がいのある20歳未満の児童を扶養している父または母、もしくは父母にかわってその児童を養育している方に支給されます。

◆支給期間／精神または身体に重度または中度の障がいのある児童が、20歳になるまで（障がいの程度は、提出いただく診断書をもとに県が審査します）

◆支給額（月額）／障がいの程度に応じて、下記のとおり支給額が決定されます

- ・1級…56,800円
- ・2級…37,830円

※所得が制限限度額を超える場合、支給が全て停止となります

◆支給時期／認定請求した日の属する月の翌月分から支給され、原則年3回（4月・8月・11月）指定された金融機関の口座に振り込まれます

◆所得状況届

継続して手当を受給するには、所得状況届を提出しなければなりません。所得状況届は、次年度の受給資格の認定と手当額の決定を行うものです。なお、受給資格がなくなったときはすぐに届け出てください。届け出をしないで手当を受け取っていた場合、受給していた手当額を返還していただきます。

◇提出期間

8月12日(火)～9月11日(木)

※土日を除く

ひとり親の方、お気軽に相談ください

専門の相談員が生活や子育てなどのさまざまな相談に対応するとともに、各種支援制度に関する情報の提供を行っています。メールによる相談や匿名での相談もできます。

◆主な支援内容

生活支援、就労支援、相談支援、弁護士相談、養育費確保、面会交流相談、離婚前後の相談など

◆相談・問い合わせ先

山形県ひとり親家庭応援センター

☎023-633-1037

まちかどニュースは、皆さんの広場です。
地域のできごとやご意見などお気軽にお寄せください。
役場企画課DX推進室まで（直通 87-0522）



第12回いいでトライアングル合唱祭

飯豊山まで歌声が響きますように

7月6日、町民総合センター「あ～す」において、本町では13年ぶりに「いいでトライアングル合唱祭」が開催されました。この合唱祭は、飯豊山を望む新潟、福島、山形の3県の合唱団11団体が一堂に会し、歌を通して文化交流するものです。フィナーレでは、大地讃頌と飯豊山を全員合唱し、壮大な飯豊山が目に浮かぶような力強い歌声が満席の会場に響き渡りました。



海の幸をはぐくむ山に緑をProject in 飯豊

下草刈りと巻きずし作りに挑戦



7月30日、海の幸をはぐくむ山に緑をProject in 飯豊が、県鮭商生活衛生同業組合主催、町内5地区まちづくりセンター協賛で行われ、小中学生7名が参加しました。源流の森で下草刈りを行った後、中津川地区まちづくりセンターで巻きずし作りに挑戦しました。参加した児童は「おなか^{すし}が空いていたのでとてもおいしい。具がはみ出さないように巻くのが難しかった」と笑顔で話しました。



社会を明るくする運動内閣総理大臣メッセージ伝達

安心安全な明るい町を目指して



7月1日、西置賜地区保護司会飯豊分会の皆さんが社会を明るくする運動内閣総理大臣メッセージ伝達のため、役場を訪れました。片桐天山会長よりメッセージが読み上げられ、嵐町長に手渡されました。片桐会長は、「飯豊町は犯罪が少ないが、全国的にはさまざまな事件やトラブルが起きている。今後も引き続き、安心安全なまちづくりを目指して活動したい」と決意を述べました。





白川ダム SNOW えっぐフェスティバル 2025

夏の暑さを忘れて

7月26日、白川ダム湖岸公園を会場に、白川ダム SNOW えっぐフェスティバル2025が開催されました。厳しい暑さの中、雪上相撲や雪上宝さがしなど涼しさを感じられるイベントが行われ、約20の出店が軒を連ね、会場は活気に包まれました。夜には、フィナーレを飾る大輪の花火が夜空を彩り、参加者は楽しい一日の締めくくりを心に刻んでいるようでした。



台湾国立放送大学・台湾教育部視察受け入れ

日本の福祉制度を学ぶ



6月27日、町健康福祉センターに、台湾国立放送大学および台湾教育部の「多世代間コミュニティ」に関する視察者7名が来町しました。高齢化が進む台湾では、要介護高齢者が増加しており、同様に高齢化が進む日本の対策や取り組みを学習。質疑応答では、健康づくりの取り組みの状況や町が実施している各種支援について、多くの意見や質問が活発に交わされました。



飯豊町戦没者追悼式

恒久平和を願う



7月23日、町民総合センター「あ～す」において、飯豊町戦没者追悼式がしめやかに執り行われました。遺族など関係者約50名が参加し、戦没者へ思いをはせ、平和への祈りを捧げました。式では、飯豊中学校3年の後藤かがりさんが「戦争を体験したことがない世代が増える中、戦争の話を次の世代へ語り継ぎ、平和な世界をつくっていききたい」とメッセージを奉読しました。



7/19

第43回ゲートボール大会（中部まちづくりセンターゲートボール場）



7/5

いいで未来カフェキックオフミーティング（中部地区まちづくりセンター）



7/3

永年勤続優良社員表彰式・町内新規就職者激励会（めざまの里観光物産館）

【第二小学校へ】

- ◎長井地区交通安全協会飯豊中部・西部支部／黄色い通学帽子（9個）
- ◎長沼新聞店
文房具セット（9セット）
- ◎本長寺／七夕用笹竹（3本）
- ◎高橋ファーム
たい肥（トラック2台分）
- ◎エフエム山形／新入生のためのあんぜん・あんしんガイドブック
- ◎長井地区交通安全協会／一年生の交通安全「守ろうね！6つのお約束」
- ◎山形新聞社／サクランボの剪定枝を原料にしたノートブック
- ◎菊地工業／マラソンコースライン塗装
- ◎伊藤裕介さん
クロスカントリースキー（7組）

【手ノ子小学校へ】

- ◎憐わたや伊藤畜産
たい肥（トラック1台分）
- ◎手ノ子小祖父母学級／雑巾（38枚）
- ◎新和産業
交通安全ヘルメット（2個）
- ◎長沼新聞店／文房具セット（2セット）
- ◎手ノ子小学校後援会／ノート（2冊）

【添川小学校へ】

- ◎長井地区交通安全協会飯豊東部支部
黄色い通学帽子（6個）
- ◎田辺重好さん／鉢植え（1鉢）
- ◎梅津智子さん／あやめ（1鉢）

【飯豊中学校へ】

- ◎町婦人会
タオル（10枚）、雑巾（20枚）
- ◎飯豊中学校後援会
さすまた（2本）
- ◎Sui／手作りアートしおり（約100枚）、小物入れバッグ（約30個）
- ◎菅野佐智子さん／単行本（1冊）
- ◎千明一雅さん／単行本（2冊）

「いいでめざみの里応援寄附金」

町に「ふるさと納税」として、たくさんの方から寄附をいただきました。

○令和7年4月～6月
1,245件／28,368,000円



第二小…(二)、手ノ子小…(手)

飯豊中…(中学)

- ※1 敬称略、大会名や部門名に「小学」「中学」がつくものは所属省略
- ※2 県大会出場は★県大会で表記
全国大会出場は★全国大会で表記

◆町総合スポーツ大会第48回ソフトボール大会

- ①東部②小白川③椿・萩生
- 最優秀選手：竹田悠（東部）
- 優秀選手：五十嵐柚衣（小白川）

◆県少年少女柔道ワッペン大会

- 【4年男子の部】ベスト8
小松剛士（県強化指定選手）
- 【5年男子の部】
②浅野敦生（県・東北地区強化指定選手）

◆西置賜地区陸上競技選手権大会 全て町陸上スポーツ少年団

- 【小学男子6年100m】
①小関慶翼★県大会③船山寛生
- 【小学男子コンバインドB】
①渋谷勇 ★県大会

◆第45回全日本バレーボール小学生大会長井地区予選

- 【女子の部】①飯豊バレーボールスポーツ少年団 ★県大会

◆山形県卓球選手権大会ホープス

- 【女子シングルス】③志田莉央奈(二)
- 【女子団体】①志田莉央奈(二)

◆西置賜地区中学校体育大会

- 【男子駅伝競走】③飯豊中

◆長井市夏期総合体育大会

- 【バスケットボール競技女子】

- ①飯豊中

◆米沢市民体育祭

- 【柔道中学男子団体戦】③飯豊中

◆第53回平田杯争奪バレーボール大会

- 【中学女子の部】③飯豊中

◆第9回山形県中学校少林寺拳法大会 【男子組演舞の部】

- ①沼澤湊人 ★全国大会
- 【男子単独演舞の部】②沼澤湊人

◆山形県スキー連盟アルペン(ユース) 横澤蒼祐（競技強化選手）

◆西置賜地区中学校体育大会

- 【バスケットボール女子】

- ①飯豊中

★県大会

【ソフトボール】

- ①伊藤愛琉（クラブ所属）

【軟式野球】②飯豊中

【サッカー】②飯豊中

【卓球男子団体】②飯豊中

【柔道男子団体】②飯豊中

【柔道女子団体】②飯豊中

【バレーボール女子】③飯豊中

【水泳男子団体】③飯豊中

◆第43回全国白川ダム湖畔マラソン大会

◇2km

- ・小学生低学年以下男子

- ①長岡秀真②金野鷹矢
③川崎駿隼

- ・小学生低学年以下女子

- ②竹田朱花③山口真穂

- ・中学生男子

- ③佐藤新

- ・高校・一般女子（39歳以下）

- ①小関杏実②渡部紅羅々

◇5km

- ・小学生男子

- ①嶋貫新大②若山尊③三澤叶侑

- ・小学生女子①鈴木花凜

- ・中学生男子③石井權

- ・中学生女子

- ①三澤夢②長岡莉亜奈③堀陽葵

- ・一般女子（40～59歳）

- ③舟山恵理子

◇10km

- ・中学生男子②横澤蒼祐

- ・一般男子（40～59歳）

- ③三澤優治

◆山形県縦断駅伝競走大会

【登録選手】

梅津駿也・鈴木駿太郎・小山航平・
嵐琉煌・渡部幹太・菅野一陽



▲風を切って走る選手たち



高橋敏夫さん

山形地方事務局
佐藤克洋支局長

感謝状の贈呈

人権擁護委員 高橋敏夫さん(高峰)

7月15日、役場にて人権擁護委員の高橋敏夫さんへ法務局と町から感謝状が贈呈されました。高橋さんは4期12年に渡り、人権相談での相談業務をはじめ、小学校での人権講話や花植えなど人権の考え方を広める活動に尽力されました。高橋さんは「委員仲間や先輩方に感謝している。町で人権講演会を実施した際、仲間と企画・運営し、同じ目的に向かってやり遂げたことが思い出に残っている。人権に関する相談は多様化しており大変なこともあるが、後任の高橋恵美子さん(手ノ子)は適任なので活躍を期待している」と感謝と激励の言葉を述べました。

お知らせ インフォメーション

ボランティア

ありがとうございました

令和7年4月から6月までに、町内の公共施設などで奉仕活動をされた皆さんを紹介します。

【白樺地区まちづくりセンターへ】

◎除草・草刈り清掃作業／樺区民会

【東部地区まちづくりセンターへ】

◎花壇整備・花植栽／東部地区高砂会

【西部地区まちづくりセンターへ】

◎花壇除草／手ノ子町分館寿クラブ

【町内全幼児施設へ】

◎読み聞かせ／あ～すまいる～ず

【飯豊わくわくこども園へ】

◎アメシロ防除／萩生町上部落

◎草刈り／飯豊町建設業親睦会

【こどもみらい館へ】

◎アメシロ防除／下町地区

【町内全小学校へ】

◎読み聞かせ／あ～すまいる～ず

【第一小学校へ】

◎大豆種まき・サツマイモ苗植え

伊藤賢一さん・長岡悠平さん

◎田起こし、代かき、田植え作業

山口與一さん、朝倉隆一郎さん、佐藤仁史さん

◎家庭科授業補助・下校時の見守り活動／中部地区婦人学級

【第二小学校へ】

◎安全見守り活動／白樺子どもネット安全パトロール隊

◎田んぼの先生／安部宗和さん

◎畑の先生／高橋賢治さん

◎5年生家庭科裁縫指導／樋口典子さ

ん、遠藤裕子さん、高橋りつ子さん

【手ノ子小学校へ】

◎登下校の見守り・清掃ボランティア／手ノ子小学校祖父母学級

◎駐車場ライン引き直し

(株)高橋工務店

◎白流太鼓の指導／男鹿晃生さん(飯豊山白流太鼓保存会)

◎林業の講話／加藤雅史さん

◎馬とのふれあい活動

金田舞美さん(ひらすび牧場)

◎全校遠足(小屋地区の案内)

伊藤浩一郎さん

◎SDGs学習会／後藤武蔵さん

◎琵琶の弾き語り／難波美恵さん

【添川小学校へ】

◎登下校の見守り／防犯パトロール隊、子ども110番のみなさん、子ども見守り隊

◎5・6年生田植え、草取り指導

昭和地区 農地・水・環境保全会

◎畑の耕運・里芋植えの指導

佐原守さん、二瓶茂則さん、高橋和雄さん、勝見吉和さん

◎放課後子ども教室／梅津智子さん、遠藤とも子さん、須貝喜代子さん

◎家庭科裁縫指導

齋藤久子さん、後藤信子さん



心遣いに感謝します

令和7年4月から6月までに、町内の公共施設などへ寄付や寄贈をされた皆さんを紹介します。すでに広報で紹介したものは割愛します。

【美の里へ】

◎町婦人会

タオル(10枚)、雑巾(20枚)

【中部地区まちづくりセンターへ】

◎嶋貫満喜さん

家庭用カラオケ(1台)

◎町婦人会／タオル(10枚)

【東部地区まちづくりセンターへ】

◎富永藤泰さん／写真(多数)

【中津川地区まちづくりセンターへ】

◎伊藤ふみさん／電子レンジ(1台)

【こどもみらい館へ】

◎二瓶幸浩さん／花鉢(4鉢)

【飯豊すくすくこども園へ】

◎二瓶幸浩さん／プランター花(10個)

【飯豊わくわくこども園へ】

◎JA山形おきたま女性部豊原班 雑巾(76枚)

◎佐藤政市さん／プランター花(8個)

◎町婦人会／タオル・雑巾・足ふきマット(各10枚)

【町内小学校新入生へ】

◎町防犯協会中部・白樺・東部・西部支部／防犯ブザー(33個)

◎町交通安全推進協議会

ランドセルカバー(33枚)

◎町交通安全協会連絡協議会

交通安全反射材バッグ(33枚)

◎JA山形おきたま農業協同組合飯豊支店／学習ノート(33セット)

◎町交通安全母の会

文具セット(33セット)

◎(株)みずほフィナンシャルグループ 交通安全ワッペン(33個)

◎(株)モンテディオ山形

オリジナルキャップ(33個)

◎東北楽天ゴールデンイーグルス 楽天イーグルスキャップ(33個)

【第一小学校へ】

◎長井地区交通安全協会飯豊中部支部 黄色い通学帽子(16個)

◎(株)わたや伊藤畜産

たい肥(トラック1台分)

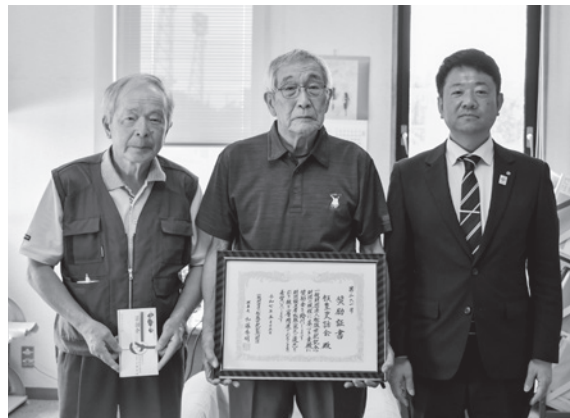
◎町婦人会／タオル・雑巾(各10枚)

山形県知事・山形県教育長感謝状 伊藤和憲さん（岩倉）



6月9日、教育の向上発展に寄与された町教育委員会教育委員の伊藤和憲さんが、県知事・県教育長より感謝状の贈呈を受けました。伊藤さんは、平成26年10月から教育委員に選任され、町の教育の充実と子どもたちの健やかな成長を目指して活躍されています。嵐町長への報告では、「10年間、学校教育に関わることができてうれしい。これからも自分の仕事に責任をもって活動し続け、町の未来を担う子どもたちを身近で見守っていきたい」と受賞の喜びと今後の抱負を語りました。

（一財）松阪世紀記念財団奨励賞 飯豊史話会



土屋秋夫さん 木村勝男会長

6月16日、飯豊史話会の木村勝男会長（萩生）と土屋秋夫さん（萩生）が役場を訪れ、松阪世紀記念財団の奨励賞受賞と奨励金受領を報告しました。飯豊史話会は、町の歴史や文化を学ぶ中で郷土愛を育むことを目的として、昭和47年から活動を続けています。歴史文化の継承などを主とした論文が掲載された飯豊史話の発行や、町と共同して実施する飯豊学講座の講師選定・進行を主な事業としています。今回の奨励金は地域の文化などの発展に活用してほしいと寄附され、今後発行する飯豊史話の作成費用として活用される予定です。



◀出張スタジオ嵐の様子

参加者からは「不安や悩みについて、しっかり耳を傾けてもらえたことがうれしかった」と感想をいただきました。

- ◆自治館にエアコンが設置されていないので夏の活動が大変だ
- ◆ごみ捨て場が家から遠い地区がある
- ◆若いうちや車の運転ができるうちは心配ないが、年齢を重ねるごとにごみ出しが負担になるため、近くに設置できないか
- ◆舗装されている道路の途中から砂利道になるところがある。押し車を使用する高齢者もいるため、すべて舗装してほしい

問 役場企画課まちづくり室

☎ 87-1182

次回予告！
◆開催日／8月21日（休）
◆時間／10時～17時
◆場所／役場2階町長室
※出張スタジオ嵐も受け付けています
◆その他／個人・団体ともに受け付けていますので、お気軽にお越しください。予約優先です。

7月は、中ノ目北自治館で出張スタジオ嵐を開催し、嵐町長に加えて、今回初めて西嶋副町長も参加しました。



Part 3

スタジオ嵐レポート

いいで人の力をまちの力に！

（輝く町民にインタビュー）

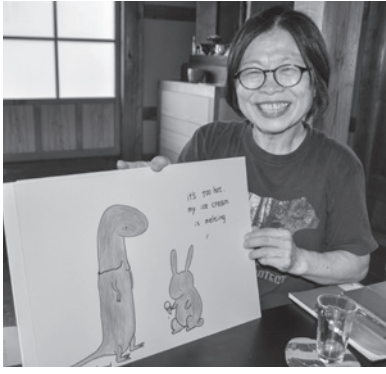
このコーナーでは、町内外で活躍する町民の方に活動や町への思いをお聞きします。今回は3期15年、人権擁護委員として活動されている茂木栄子さん（添川）を紹介します。

37

英語を通じて世界を広げ、 人権の道へ踏み出す

今回お話を伺ったのは、3期15年、人権擁護委員として活動されている茂木栄子さん。平成23年7月から委員としての取り組みをはじめた茂木さんは、経験した海外での生活を通して多様な価値観に触れ、人としてのあり方や他者への思いやりの大切さを学んできました。茂木さんは、海外で生活して感じたことをこう語ります。

「海外生活で、経済的に厳しい状況にある人、十分な教育を受けられない人などとお会いしましたが、そうした人々の心の豊かさや、人とのつながりを大切にする姿勢に非常に感銘を受けました」。



茂木栄子 さん
Eiko Mogi

このような経験が、誰もが尊重される社会を目指して取り組む人権擁護活動の原点となり、今も活動の中で大切にしている価値観になっっているそうです。

「手づくりの紙芝居を使って、小学生にも人権についてわかりやすく伝えていきます。目をつぶって手を挙げてもらうなど、自分の意見を表現する機会も与えるような気をつけて、実際にやってみることを大切にしています。また、子どもたちの表情や話の流れを見ながら、その場に合わせた教え方を工夫しています」。

また、茂木さんはジャパンボランティアクラブの活動も並行しており、さまざまな人との出会いを楽しみにボランティアに取り組んでいるといいます。こうした日常の関わりの中で、一人一人を大切にして優しい気持ちを持つことの重要性を伝え続けています。

「今の子どもたちは、不安や寂しさを感じることが多いと言われています。そんな時こそ、言葉ではなく、そっと隣にただ静かに寄り添うだけでいいのです」。

9月号に続きます



協力隊通信

Vol. 65

武田親祐



◆三年間ありがとうございました
田植えがようやく終わったかと思えば、梅雨も分かれぬまま夏を迎え日々汗を流しております。私が担当する協力隊通信は今回で最後となります。

協力隊の任期は満了となりますが、飯豊町での生活はこれからがまさにスタートです。協力隊を通してつながった縁を大切に生かしていきたいと思っています。

農業については一生勉強。毎年できることが増える一方で、自分の力不足も見えるようになってきています。

米作りという一年に一度しかないチャンスを積み重ね、これからも諸先輩方を見習い頑張っていきたいと思っています。

改めてはなりますが、協力隊退任後も飯豊町におりますので何かの折にはよろしく願います。三年間ありがとうございました。



3 すべての人に
健康と福祉を

健康 ikiiki +では、町健康福祉センター（町健康福祉課・町国民健康保険診療所）から、季節ごとに旬な話題をお届けし、町民の皆さんの健康づくりを応援します。

今月の
テーマ

食中毒 にご注意ください！

8月は厚生労働省によって「食品衛生月間」に定められています。梅雨から夏（6月～8月）は細菌が原因となる食中毒が多く発生しています。夏場に増える要因の一つは、「高温多湿な環境」です。食中毒を引き起こす細菌の多くは、室温（約20℃）で活発に増殖し始め、人間の体温ぐらいの温度で増殖のスピードが最も速くなります。しっかり対策し、食中毒を防ぎましょう。



食中毒予防の3原則

菌を「つけない」＝しっかり洗う！

せっけんやハンドソープを使って手洗いをしましょう

- ・調理を始める前 ・食事の前
- ・調理の途中で、鼻をかんだり、トイレに行った後
- ・オムツを交換したり、動物に触れたりした後
- ・生の肉や魚、卵を取り扱う前後
- ・残った食品を取り扱う前

菌を「増やさない」＝低温で保存！

細菌の多くは10℃以下で増殖がゆっくりになり、マイナス15℃以下では増殖が停止します。

肉や魚などの生鮮食品や惣菜などは購入後すぐに冷蔵庫へ。ただし、冷蔵庫を過信せず、早めに食べましょう。

菌を「つけない」＝しっかり分ける！

生の肉や魚などの調理時／まな板などの調理器具を他のものと使い分けましょう。また、使用の都度きれいに洗い、殺菌しましょう

焼肉／生の肉をつかむ箸と焼けた肉をはさむ箸は分けましょう

食品保管／ラップをかけたり、密閉容器に入れましょう

菌を「やっつける」＝しっかり加熱！

ほとんどの細菌やウイルスは加熱によって死滅します。特に肉料理は中心までよく加熱することが大切です。

（目安：中心部を75℃で1分以上加熱する）

調理器具はきれいに洗った後、熱湯をかけて殺菌しましょう。台所用殺菌剤の使用も効果的です。



気になる症状がある場合は早めの受診を！

下痢や嘔吐などの症状は原因物質を排除しようとする身体の防御反応です。自己判断で下痢止めや吐き気止めを使用せずに、早めに受診をして医師の指示に従うことが大切です。特に、子どもや高齢者は注意が必要です。

体の免疫力を高めましょう

食中毒が増える原因の一つに夏バテ＝免疫力の低下があります。冷たい物の取り過ぎなどで胃酸が薄まり胃粘液の分泌も減るため、十分に殺菌されず食中毒を起こし易く、回復にも時間がかかります。それに対して体力が充実し免疫力が高い人は、胃腸も元気で食中毒になりにくくなります。

免疫力をあげるために、睡眠や食事をきちんととり、軽い運動や趣味などでストレスを解消することを心がけましょう。

エコバッグを清潔に保ちましょう

目につく汚れや臭いがなくとも、肉や魚の汁、野菜の土がエコバッグに付着することがあります。そのまま使い続けると細菌が増殖してしまいます。

◆対策

- ・定期的に洗う・肉や魚、野菜はポリ袋に入れる
- ・入れる順番に気をつける（冷たい物と温かい物が密着しないように）
- ・保冷剤を活用する
- ・食品と日用品を入れるエコバッグを区別する

◆問合せ先／町健康福祉課子ども家庭健康室 ☎86-2338

子育てFILE

こどもみらい館の予定表
(8月の日程)

8月13日(水) 10:15 ～おはなし広場
16日(土) 10:15 ～おはなし広場
26日(火) 9:50 ～ママと赤ちゃんのサロン
離乳食教室 (要申込)
(会場: 健康福祉センター)
27日(水) 10:15 ～おはなし広場
30日(土) 10:15 ～おはなし広場

【プール遊びをしています!】

今月は、9日(土)・20日(火)・23日(土)にプール遊びをします。今季はこれで終了です。ぜひ遊びに来てください。

※当日の天候により実施できない場合があります

【臨時休館日のお知らせ】

8月13日(水) 午後

●子育て支援センター (こどもみらい館) ☎74-2305
開館日/月曜日から土曜日 休館日/日曜日、祝日
利用時間/9:30～16:30



ふじもと おうすけくん



いとう そらくん

町内に在住の方で、小学校入学前のお子さんの写真掲載を希望される方は、メール(iide-info@town.iide.yamagata.jp)に名前・性別を記入して送付ください。

●問合せ先
役場企画課DX推進室
☎87-0522



9月の保健



◆問合せ先

町健康福祉課子ども家庭健康室 ☎86-2338
令和7年度の日程はこちら→



乳幼児健診

◎4カ月・9カ月児健診

◆日程/9月5日(金)

◆受付/13:00～13:15

◆対象者/4カ月児/令和7年4月・5月生まれ
9カ月児/令和6年11月・12月生まれ

◆場所/健康福祉センター

※対象者へ約1カ月前に健診の案内を郵送します

子育て相談

お子さんの発達や関わり方など、子育てに関する悩みを心理士へ相談できます。

◆対象/未就学のお子さんを持つ保護者

◆日時/9月4日(木) 午後 1日2名まで

◆場所/健康福祉センター

※要予約。次回の子育て相談は12月11日(木)です

ママと赤ちゃんのサロン

助産師が同席する、1歳ごろまでの赤ちゃん和妈妈の交流の場です。体重測定や授乳・育児相談もできますので、ぜひ気軽にご参加ください。

9日は、リラックス効果のあるアロマでタッチケアをします。30日は、救急救命士から、小さいお子さんへの応急救置(誤飲・窒息時の対応、心臓マッサージなど)を教えてください。ご家族の参加も可能です。

◆日程/9月 9日(火) タッチケア

30日(火) 救急講座

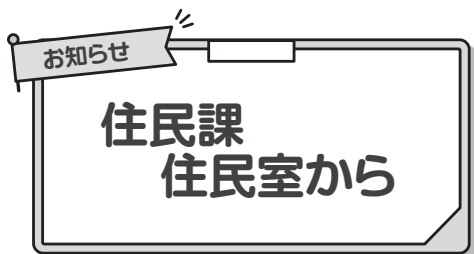
◆時間/10:00～11:30

◆場所/こどもみらい館

※自由参加。参加費無料



赤ちゃんサロン「赤ちゃんからはじめる性教育講座」の様子



国民年金保険料を納めるのが困難なときは…

保険料免除・納付猶予の申請手続きを！

収入の減少、失業などの経済的な理由で保険料の納付が困難なときは、申請をして日本年金機構から承認されると保険料が免除される制度があります。令和7年度分は7月から受け付けています。

①保険料免除制度…免除される額は、所得に応じて「全額」「4分の3」「半額」「4分の1」の4種類があります

・対象者／申請者本人・配偶者・世帯主それぞれの前年所得が一定基準以下の方、失業した方

※一部免除を承認された場合でも保険料を納めないと未納期間扱いとなりますのでご注意ください

②納付猶予制度…20歳以上50歳未満の方に限り利用できる制度です

・対象者／申請者本人・配偶者それぞれの前年所得が一定基準以下の方

・承認期間（①・②）／7月から翌年6月まで

③学生納付特例制度…20歳以上の学生の方が利用できる制度です

・承認期間／4月から翌年3月まで

◆申請先／役場住民課住民室（マイナポータルからの電子申請可、申請書をお持ちの場合は郵送可）

◆必要書類

- ・年金手帳または基礎年金番号通知書
- ・マイナンバーがわかるもの
- ・失業などを理由とするときは、雇用保険被保険者受給資格者証や離職票など（コピー可）
- ・学生の方は、申請する期間に学生である（あった）ことがわかる書類（学生証、在学証明書など）

◆留意事項

- ・さかのぼって申請できる期間は、申請時点から2年1カ月前までです
- ・免除などが承認された期間については、10年以内であれば保険料を納付できる「追納制度」があります。追納することで将来受け取る老齢基礎年金の額を増やすことができます

◆詳細は日本年金機構ホームページをご確認ください



◆問合せ先／役場住民課住民室 ☎87-0511

国民健康保険診療所 9月の診療予定・担当医師

※空欄は休診です



◆国民健康保険診療所（椿） ☎72-2300

	月	火	水	木	金	土	日
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
午前	高木	高木	総合診療科 医師		高木		
午後	高木	高木			高木		
	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
午前	高木	高木	総合診療科 医師		高木		
午後	高木	高木			高木		
	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
午前	(祝日)	高木	総合診療科 医師		高木		
午後		高木			高木		
	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
午前	高木	(祝日)	総合診療科 医師		高木		
午後	高木				高木		
	29日	30日					
午前	高木	高木					
午後	高木	高木					

○水曜日の午後・木曜日は休診です

○小児の予防接種は、月・火・金曜日の午後4時から行います。ワクチン手配の都合上、事前に予約してください

【受付時間】 午前 8:30～11:30 午後 1:30～4:00

◆付属中津川診療所 ☎77-2330

	月	火	水	木	金	土	日
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
午前	伊藤		豊野		豊野		
午後							
	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
午前	伊藤		豊野		豊野		
午後							
	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
午前	(祝日)		豊野		豊野		
午後							
	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
午前	伊藤	(祝日)	豊野		豊野		
午後							
	29日	30日					
午前	伊藤						
午後							

○診療日は月・水・金曜日の午前です

○小児・高齢者の予防接種は、ワクチン手配の都合上、事前に予約してください

【受付時間】 午前 8:30～11:30



できることから
始めよう

地域での 支え合い・助け合い

地域支え合い推進員通信 第40回

3 すべての人に
健康と福祉を



「知ることによって優しくなれる ～ふくし出前講座～」

町社会福祉協議会では、6月に2回目の「ふくし出前講座」を開催しました。今回は、手ノ子小学校の放課後活動「わくわく3KEN（健・賢・研）広場」で高齢者疑似体験を行いました。

- ①視覚障害体験…ばやけて黄色がかった視覚を体験できるメガネを使って、キャラクター当てクイズなどで“見えにくい感覚”を知ってもらいました
- ②手の感覚体験…手袋をつけてプリントをめくったり折り紙を折ったりすることで、“物がつかみにくい・手先が使いにくい感覚”を知ってもらいました
- ③歩行障害体験…手首や膝に重りやサポーターを付けて歩いたり車椅子に乗ったりして速さを体感しました。“関節が硬く筋力が低下した状態で歩く感覚”を知ってもらいました

体験を通して「車椅子を押している時は感じなかったが、自分が乗って押してもらったら自転車くらい早かった」「ばあちゃんが“見えない”という理由が、こういうことだったんだと実感した」という感想をいただきました。体験中「メガネが見えにくいから気をつけてね」と優しい言葉をかけて手渡す姿や、低学年をサポートする高学年児童の姿を見ることができました。相手に寄り添って、自分から手を差し伸べられる素晴らしい手ノ子小学校の皆さんでした。



真剣に話を聞く様子



黄色にばやける見え方体験



◆問合せ先／（社福）飯豊町社会福祉協議会 ☎72-3353
町健康福祉課福祉室 ☎86-2233



町民川柳

お題／「山」または自由題

3 すべての人に
健康と福祉を



山に 山菜採りに行ったら 道に迷いました

中

後藤 須美

西山へ 三羽和になり 白い鳥

中

長岡 きく子

富の山 登ってみたい？ 無理ですね!!

中

竹田 セイ

山畑に スイカどろぼう クマとの共存

中

ヤマグチトミコ（雅号）

帰るごとに 色こく 中津川の山

中

だんごばあ（雅号）

下らない 米の値段と 血糖値

中

長岡 秀雄

山積みの 備蓄米から お裾分け

添川

横山 君代

朝の市 山菜売場に 客の列

添川

横山 源作

八十の 山越えて次 米寿

添川

高橋 和雄

飯豊山 毎日ながめて 八十年

添川

高橋 昌子

山あいに 残るたい雪 新若葉

添川

中村 喜重

米づくり 山の恵みと 白川湖

添川

佐原 守

山の愛 父母恋しい ほたるの里

添川

吉の（雅号）

痛い足 山へ入れば スタスタと

添川

米野 泰子

恐るべし 合従連衡 時ぞ今

小白川

山口 廣美

いつもだね 貧乏くじを 引く私

小白川

高橋 賢治

夕闇に 歴史遺すか ホトケ山

萩生

エビス屋（雅号）

飯豊山 萬年雪も 消滅の恐れ

萩生

樋口 忠夫

山開き 祝詞が響く 奥の院

椿

安部 洋一

願わくば 器用さ母に 似ていたい

椿

川崎 てい子

夏休み 出される宿題 山積みだ

黒沢

カスミソウ（雅号）

作品を募集しています。 毎号先着20名（1人1作品）を掲載します

◆お題／「山」または自由題

◆応募方法／掲載号の前月の第3木曜日までに、未発表の自作の川柳と住所、

電話番号、氏名（または雅号）を明記のうえ、はがきまたは

FAXで応募してください

◆提出・問合せ先／役場企画課DX推進室 ☎87-0522 FAX 72-3827

あ〜す発信局



「あ〜す」図書室

- 開館時間：(火)～(日) 9:00～17:00
(9月末までは、日曜を除き 19:00 まで開館)
- 休館日／毎週月曜日、祝日、年末年始
- 問合せ先／☎72-3111

大人の講座 ～カラー筆ペンを使って季節のポストカードを作ろう～

なかなか手書きでメッセージを伝えることが少なくなったからこそ、手書きの物を頂いたときはうれしいですね。

絵や文字を描くことが苦手な方もチャレンジしてみませんか？

- ◆日程／第1回 8月30日(土) 14:00～15:30
第2回 9月27日(土) 14:00～15:30
第3回 11月29日(土) 14:00～15:30

◆会場／町民総合センター「あ〜す」会議室

◆対象／どなたでも (先着10名)

※3回で1コースとなるため、3日出席可能な方

◆内容／この講座では、初心者の方でも気軽に参加できるよう、カラー筆ペンを使用して季節の美しいポストカードを作成する技を学びます

◆講師／伊藤 恵 氏 (手ノ子)

◆参加費／無料

◆持ち物／黒の筆ペン、筆記用具
(カラー筆ペンは用意します)

◆申し込み・問合せ先

町民総合センター「あ〜す」図書室
☎72-3111



※イメージ

第1回「絵を描いてみましょう」

カラー筆ペンの扱い方など基本の講座を行います

第2回「ポストカードを作ってみましょう」

絵と文字を組み合わせ自由に表現してみましょう

第3回「筆ペンで宛名を書いてみましょう」

完成したポストカードに宛名を書き込みます

新 着 図 書



心と体が潤う食薬
ドリンク図鑑
大久保 愛／著
出版／山と溪谷社



ありがた
瀬尾 まいこ／著
出版／水鈴社

今月のおすすめの本

一般図書



パズルと天気

伊坂 幸太郎／著 出版／PHP 研究所

悩みを抱えた「僕」は、マッチングアプリでしか出会えない「名探偵」に依頼することに…。「パズル」をはじめ、伊坂ワールドの魅力が詰まった5編の短編を収録する。

児童図書



戦火のあとで

宮川 健郎／編 出版／汐文社

戦争を見つめた作家たちの詩、児童文学、小説をまとめたアンソロジー。いぬいとみこ「川とノリオ」、田村隆一「立棺」、遠藤周作「カプリンスキー氏」、今江祥智「あにい」など9編を収録する。

新 着 児 童 書



Scratch ではじめる機械学習
石原 淳也・倉本 大資／著
阿部 和広／監修
出版／オライリー・ジャパン



きんぎょだいさくせん
まつなが もえ／著
出版／白泉社

◆◆◆ 今月の展示コーナー ◆◆◆

今年は第二次世界大戦終戦から80年です。本を読んで、戦争について再確認してみませんか。また、夏休みに親子で楽しめる本を展示します。



ハローワーク 飯豊町求人情報

飯豊町内のハローワークの求人情報を掲載します。

◇6月19日以降に登録された7月18日現在の町内求人情報を掲載しています。雇用の状況により、募集が停止されている場合があります。

◇事業所によっては複数の職種の募集がありますが、掲載枠の関係上、一部省略しています。

◇雇用形態は、正＝正規社員、パ＝パート労働者で表記しています。

◇詳しくは、ハローワーク長井にお問い合わせください。

◆問合せ先

ハローワーク長井 ☎84-8609

役場商工観光課産業連携室 ☎87-0569

事業所名	職 種	雇用形態
(有)肉のすがい	販売・配達・作業補助、食肉加工員	正・パ
(株)デンソー山形	調達	正
豊川建設（株）	重機運転手（土木・建築他）（有資格者）、 重機運転手（土木・建築他）（見習い）、 土木技士・建築技士（有資格者）、 普通作業員（土木・建築他）／60歳以上限定、 普通作業員（土木・建築ほか）（見習い可）	正・パ
(株)トップパーツ	【急募】電気回路設計エンジニア（技術職）、 【急募】社内S E（管理）	正
(有)渡部製材所	一般事務、木材加工スタッフ／資材配達 【未経験者も大歓迎】	正
(株)レパック	機械工（MC）経験者、検査員	正
(株)ウマイヤ商店	検針および配送	正



住民課生活環境室から

『明るいやまがた、夏の安全県民運動 実施中です！』

夏は長期休暇、レジャー、暑さによる気のゆるみや疲労などから、交通事故や水の事故などが多くなり、また、青少年の非行や身近な犯罪も多くなる傾向にある時期です。これらの事故を防止するとともに、青少年の健全な育成を図るため県民総ぐるみの運動を推進し、安全で明るいやまがたをつくることを目的とし『明るいやまがた、夏の安全県民運動』を実施しています。

◆運動の重点

【青少年の健全育成といじめ・非行および犯罪被害防止】

①あいさつ、見守り運動

～子どもを家庭、地域で育てよう～

②モラル、マナーの向上運動

～大人が子どもの手本となろう～

③子どもを事故や犯罪などから守る運動

～子どもの安全を地域や社会全体で見守ろう～

【子どもと高齢者の交通事故防止・飲酒運転の撲滅】

①すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの着用100%の徹底

②自転車損害賠償責任保険に加入して万一の自転車事故に備える(令和2年7月1日から義務化)

③飲酒運転は「しない・させない・許さない」の徹底

④横断歩道における歩行者優先の徹底

【海・山・川での事故防止】

①幼児が水辺で遊んでいる時は絶対に目を離さない

②海での離岸流、急な川の増水には気を付ける

【身近な犯罪の防止】

①外出や夜間、就寝する際は必ず戸締りをしよう

②車から離れるときは、短時間でも「キー抜き、ドアロック」をする

③カバンや貴重品は車内に置かない

◆問合せ先

交通安全・防犯に関すること

役場住民課生活環境室 ☎87-0514

青少年の健全育成に関すること

町社会教育課生涯学習振興室 ☎72-3111



令和7年度飯豊町職員採用試験

令和7年度飯豊町職員採用試験を下記の日程で行います。

受験を希望される方は、試験案内などをご確認の上、受付期間内に申し込みを行ってください。

● 種類

試験区分		受験資格
初級行政	一般枠	平成7年4月2日から平成20年4月1日までに生まれた者（学歴不問）
	社会人枠	平成2年4月2日から平成15年4月1日までに生まれ、民間企業などでの職務経験が令和8年3月31日時点で5年以上有する者
初級土木	一般枠	平成7年4月2日から平成20年4月1日までに生まれ、学校教育法に基づく高等学校、短期大学、高等専門学校およびこれらと同等と認められる学校において、「土木」に関する専門課程を修了し卒業した者（令和8年3月までに卒業見込みの者を含む）
	社会人枠	平成2年4月2日から平成15年4月1日までに生まれ、次のいずれかの職務経験が5年以上有する者（道路、橋りょう、河川などの土木工事の計画、設計、積算、施工管理などの経験）

● 採用予定人数

初級行政・初級土木	若干名
-----------	-----

● 日程

	試験日程	試験内容	試験会場
第1次試験	9月28日(日)	総合検査SPI3-H、作文試験	飯豊町役場
第2次試験	11月下旬～12月上旬	個別面接試験ほか	第1次試験合格者にのみ通知

● 申し込み・合格発表について

受付期間	8月19日(火)から9月12日(金)まで
合格発表	第1次試験合格者は10月下旬、最終合格者は12月下旬発表予定
採用予定時期	最終合格者は採用候補者名簿に記載されます。なお、名簿の有効期間は原則として1年です。採用予定時期は令和8年4月1日です。

● その他

受験はインターネットによる申し込みとし、申し込み後に必要書類の提出が必要です。町ホームページで試験案内を確認してください。

なお、そのほか不明な点は町ホームページをご覧ください。

◆ 申込・問合せ先

役場総務課総務財政室 ☎87-0520



町ホームページ



令和7年度新規採用職員

飯豊町役場

TEL 0238-72-2111

FAX 72-3827

ホームページ www.town.iide.yamagata.jpEメール iide-info@town.iide.yamagata.jp

町HP



「あ～す」	☎72-3111	社会福祉協議会	☎72-3353	東部地区まちづくりセンター	☎74-2447
町健康福祉課	☎86-2233	ひめさゆり荘	☎74-2011	西部地区まちづくりセンター	☎75-2111
介護老人保健施設	☎86-2117	スポーツセンター	☎72-3086	中津川地区まちづくりセンター	☎77-2020
国民健康保険診療所	☎72-2300	中部地区まちづくりセンター	☎72-2126	飯豊駐在所	☎72-2245
付属中津川診療所	☎77-2330	白樺地区まちづくりセンター	☎72-2242		

◆対象者

町内に事業所などがある中小企業（他にも条件あり）

◆補助額／種類と条件により補助率が異なります

※補助金額に上限あり

◆補助金の種類

人材確保支援事業、創業支援事業、商業活性化支援事業

◆申請方法／補助金申請書に必要事項の記入および必要書類を添付して提出。申請書は町ホームページにも掲載します。ダウンロードして使用してください



◆決定方法

審査会で決定します

◆申請期限／8月29日（金）予定（郵送の場合、必着のこと）

申・問 役場商工観光課産業連携室
☎87-0569

選挙ポスター看板を
差し上げます

参議院議員選挙で使用したポスター看板（ベニヤ板・くい）を無償で差し上げます。1人あたりベニヤ板3枚、くい10本までです。希望する方はご連絡ください。

◆受付開始日時（なくなり次第終了）

8月19日（火）9:00～

※受け付けは電話のみ

申・問 町選挙管理委員会（役場総務課内）☎87-0520

令和7年度中小企業振興事業費補助金（第2次公募）

創業や新分野への進出、事業拡大による町の活性化を目指す町内中小企業者などに対し支援を行っています。詳細は町ホームページをご覧ください。

町からの
ご案内小型家電を
無料回収します

小型家電に含まれるレアメタルなどの有用金属の再資源化とごみの減量を図るため、家庭で不要になった小型家電を年に1回無料で回収しています。詳細は町のホームページなどをご覧ください。

◆日時／9月6日（土）9:00～11:00

◆場所／役場正面玄関前



◆回収できないもの

- ・テレビ／家電リサイクル法の対象となるため回収できないため、お買い上げの店舗にご相談ください
- ・スピーカー単体／一体型でないオーディオ機器は、プレーヤーやアンプのみ回収となります
- ・木枠などの木製部分があるもの

問 役場住民課生活環境室

☎87-0514

はつらつ教室（健康レベルアップ）のご案内

楽しく運動しながらより健康になるための秘訣がわかる健康教室です。健康運動指導士・管理栄養士が皆さんの健康づくりを応援します。

	日程	時間	内容
1回目	9月17日（水）	13:30～	◇講話／食生活の整え方、生活習慣予防のポイント など
2回目	9月24日（水）		
3回目	10月2日（水）		◇運動／膝痛・腰痛予防改善の運動、セルフマッサージ、転ばない体づくり
4回目	10月9日（水）		
5回目	10月15日（水）	15:30～	◇血液検査（HbA1c・LDLなど）
6回目	10月21日（水）		◇講師／健康運動指導士、管理栄養士、保健師
7回目	10月29日（水）		

◆場所／健康福祉センター

◆参加費／無料

◆申込期限／8月末

◆対象者／健康に関心のある方（～74歳）

◆定員／10名（多数の場合は先着順）

申・問 町健康福祉課子ども家庭健康室

☎86-2338

人権擁護委員に
高橋恵美子氏が就任

7月1日付けで、町の人権擁護委員に高橋恵美子氏（手ノ子）が就任されました。就任にあたり「町民の

皆さんが幸せになれるように、話を聞くことから始めていきたい」と抱負を語ってくれました。

申 申し込み 問 問い合わせ

自衛官を募集します

- ◆募集職種／自衛官候補生など
 - ◆応募資格／18歳以上
33歳未満の男女
 - ◆受付期間／随時募集中
 - ◆試験日／受付時にお知らせします
- 申・問 自衛隊米沢地域事務所
☎0238-23-0011



▼お知らせ

8月26日は 「火山防災の日」です

活火山対策への関心と理解を深め
てもらう目的に、8月26日は「火山
防災の日」と定められています。県
内では鳥海山、肘折、蔵王山、吾妻
山などの活火山があり、火山災害と
無縁とは言い切れません。「火山防災
の日」をきっかけに、火山
災害への備えについて考え
てみましょう。



問 山形地方气象台 ☎023-622-0632

みんな違ってみんな幸せ 子育て講演会

- 事前に申し込みしてください。
- ◆日時／9月20日(土)
10:00～12:30 (開場 9:30)
 - ◆参加費／無料
 - ◆場所／シェルターなん
ようホール
 - ※Zoom配信あり
- 申・問 NPO法人ゆにぷろ
☎0238-52-5679



山形県パソコンボランティア 養成講座

- ◆対象／パソコンやスマホの操作が
できる人 (定員10名)
- ◆日時／9月6日(土)、7日(日)、13
日(土)、14日(日) 10:00～15:00
- ◆場所／山形県身体障害
者福祉会館
- ◆料金／無料



- ◆受付期限／9月16日(火)
 - ◆一次試験／10月4日(土)
 - ◆試験会場／山形県土地改良会館
 - ◆その他／二次試験は一次試験合格
者に通知
- 申・問 白川土地改良区総務課
☎88-9331

置賜広域行政事務組合 職員採用試験

- ◆試験区分／消防士 (一般・職務経
験者)
 - ◆採用人数／若干名
 - ◆試験日 (第1次)／9月28日(日)
 - ◆会場／置賜広域行政事
務組合千代田クリーン
センター
 - ※消防士 (一般) の体力試験は、
29日(月)米沢市営体育館で実施
 - ◆受付期間
8月12日(火)～9月5日(金)
 - ※受験資格などの詳細はホームペ
ージをご確認ください
- 申・問 置賜広域行政事務組合事務局
総務課 ☎0238-23-3246



国税庁経験者採用試験 (大学卒業程度)

- 社会人として経験を積まれた方を
対象とした「国税庁経験者採用試験
(国税調査官級)」を実施します。
- ◆受験資格／令和7年4月1日にお
いて、大学など (短期大学を除く)
を卒業した日または大学院の課程
を修了した日のうち最も古い日か
ら起算して8年を経過した者
 - ◆申込期限／8月18日(月)
 - ◆申込方法／インター
ネット申し込み
 - 国家公務員試験採用情
報NAVI (<https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html>)
 - ◆第1次試験日／10月5日(日)
 - ◆第1次試験地
仙台市ほか全国8都市
- 問 仙台国税局人事第二課試験研
修係 ☎022-263-1111 (内線
3236)



男の料理教室 参加者募集

- 料理を基本から丁寧に実習します。
料理初心者も大歓迎です！
- ◆日時／9月11日(木)10:00～
 - ◆場所／健康福祉センター
 - ◆対象／町内在住の男性
 - ◆メニュー／魚料理
 - ◆参加費／500円
 - ◆申込期限／9月3日(水)
- 申・問 町健康福祉課子ども家庭健康室
☎86-2338

令和8年産つや姫生産者、 雪若丸生産組織の募集

- 令和7年産に認定・登録されてい
る方 (組織) も申請が必要です。
- ①「つや姫」生産者募集
申請先／役場農林振興課農業振興室
 - ②「雪若丸」生産組織募集
申請先／置賜総合支庁西置賜農業
技術普及課
- ◆期限／9月12日(金) (①、②ともに)
 - ※詳細はご確認ください
- 申・問 役場農林振興課農業振興室
☎87-0525
置賜総合支庁西置賜農業技術
普及課 ☎88-8213

▼募集

白川土地改良区 職員募集

- ◆募集人員／若干名
- 土地改良法に基づく一般業務
(土地改良施設の管理業務及び改
良区運営に関する一般事務)
- ◆受験資格
- ①平成5年4月2日以降生まれた方
で高等学校以上を卒業した方、ま
たは令和8年3月までに卒業見込
みの方
- ②普通自動車免許取得の方、または
採用時までに取得見込みの方
- ③長井市、飯豊町、川西町在住者
- ◆採用予定日／令和8年4月1日

戸籍の窓

(7月届け出分)

心からおくやみ申し上げます

住所氏名年齢

手ノ子町上佐村いちゃん 97

※この欄に掲載を望まない場合は届け出の際に申し出てください

人の動き

【6月分】		() 内は対前月比	
世帯数	2,297	(3)	転入 9
人	男	3,026 (-3)	転出 9
	女	3,105 (-1)	出生 2
計	6,131 (-4)	死亡 6	

7月号の掲載に誤りがありました
お詫びして訂正します

【5月分】		() 内は対前月比	
世帯数	2,294	(3)	転入 8
人	男	3,029 (0)	転出 9
	女	3,106 (-4)	出生 1
計	6,135 (-4)	死亡 4	

次回発行日
9月4日(木)

今月の表紙には、満開を迎えたゆり園の様子を掲載しました。色鮮やかなゆりが咲き誇り、園内は華やかな香りと美しさに包まれていました。丁寧に手入れされた花々は見ごたえがあり、訪れた人たちは笑顔にしています。来年の開園も今から楽しみです。(あやか)



危険物取扱者試験 準備講習会

◆日時／9月8日(月)・9日(火)

9:30～16:30

◆会場／高畠町屋代地区公民館

◆申込期限／8月20日(水) 定員50名

◆案内配布／消防署飯豊分署

問 消防署飯豊分署 ☎72-2222

地域支え合い講座 受講者募集

◆対象

生きがいつくりや地域の支え合いに関心のある県民

◆日時／9月7日(日)

13:00～16:00

◆会場／遊学館(山形市)

※詳細はホームページをご確認ください



申・問 (公財) 山形県生涯学習文化

財団学習振興部

☎023-625-6411

【お詫びと訂正】

7月号15ページの今月のめざみっ子のお子さんの名前に誤りがありました。深くお詫び申し上げますとともに、次のとおり訂正します。

◆ふじもと おうすけくん

相談日のお知らせ

★次回の相談／行政相談

★相談日／9月10日(水)

★時間／13:00～15:00

★会場／町民総合センター「あ～す」2階会議室

問 役場住民課生活環境室

☎87-0514

8月の納税情報

★税／住民税・国保税

★納期限／9月1日(月)

問 役場税務会計課税務室

☎87-0512・87-0513

◆申込期限／8月22日(金)

申・問 (社福) 山形県身体障害者福祉協会 ☎023-686-3690

手ぶらでBBQ& レジン作り参加者募集

◆対象者／60歳以下で身体に障がいをお持ちの県内在住の方、付き添いの方も参加可能

◆日時／8月30日(土) 11:00～15:00

◆場所／山形県身体障がい者保養所 東紅苑(東根市)

◆定員／20名(定員に達し次第締め切ります)

◆参加費／3,500円

◆申込期限／8月22日(金)

申・問 (社福) 山形県身体障害者福祉協会 ☎023-686-3690



休日レディース検診

◆期日／10月26日(日)、11月9日(日)

◆受付時間／9:30～10:00

◆会場／南陽検診センター

◆対象／乳がん検診：35歳以上の女性、子宮頸がん検診：20歳以上の女性

◆申込開始／8月18日(月)

※「休日レディース検診の申し込み」とお伝えください

申・問 南陽検診センター ☎0238-43-6303 (10:00～15:00)

デンソー山形 ファミリー・フレンドデー

◆内容／工場見学、サイエンススクール体験、製品間違い探し、社員食堂での食事など

◆日時／①9月15日(月) ②10月13日(月) 各回9:00～12:20

◆費用／無料

◆定員／各回10名

◆申込方法／QRコード

または電話で申し込み

◆申込期限／8月29日(金)

申・問 (株)デンソー山形 ファミリー・フレンドデー事務局
☎72-2290





<第5回>

WILLとCANとNEEDが 重なるところ

地域づくりで大事な点は、WILLとCANとNEEDの3つが重なる部分だと言われています。

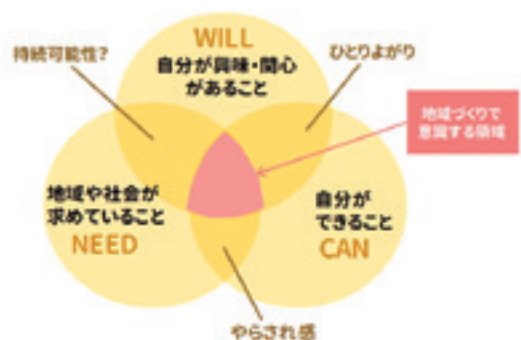
WILLは自分自身が興味や関心があること、CANは自分や仲間と協力してその活動ができること、NEEDは地域や社会から求められていることを表します。これらのWILLとCANとNEEDの3つが重なる領域こそ、地域づくりにおいて意識するべき重要な活動領域です。

これらが1つでも欠けてしまうとどうでしょうか。興味・関心 (WILL) があり、自分たちができる (CAN) ものでも、求められていない (Not NEED) ものはひとりよがりな活動になります。興味・関心 (WILL) があり、求められて (NEED) いても、自分たちでできない (Not CAN) ものは、そもそも地域づくりと言えません。自分たちができる (CAN) もので、求められている (NEED) ものでも、興味・関心がない (Not WILL) ものは、やらされ感が生まれません。

興味・関心 (WILL) があり、自分たちができる (CAN) もので、地域や社会から求められている

(NEED) 活動こそが、多くの方から共感と応援が得られ、取り組みがさらに広がっていく良好な地域づくりのサイクルが期待されます。

地域づくりではそうした3つが重なる領域を意識しながら、自分にあった無理のないやり方で、地域に関わっていく姿勢が大切です。



◆問合せ先／役場企画課まちづくり室 ☎87-1182

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



飯豊町では、SDGs 未来都市の選定を受けています。SDGs をより身近に感じていただくために、各記事に関連する目標のアイコンを付けています。



飯豊町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。これからも美しい景観と里山文化に磨きをかけていきます。

「日本で最も美しい村」連合は今年で設立 20 周年を迎えます。

今月の 表紙



ゆり園
ホームページ



ゆり園
Instagram



園内の清掃をするボランティアの方々

ゆり園では、今年も広大な敷地に多品種のゆりや宿根草が咲き誇り、来園者を楽しませてくれました。また、多くのボランティアの皆さんのおかげで、来園者はきれいな園内を散策することができました。ゆり園は11月30日まで無料開放しています。ゆりが終わった後も散歩や宿根草などをお楽しみください。